

まちなか再生支援事業「牛窓地区エリア」

～空き家等の遊休資産を活用した民間主導による都市機能再生に向けたまちづくりの推進～

目的

当該エリアの生活・交流拠点としての維持・活性化を図るため、当該エリアで増加する空き家等の遊休資産を活用することで、雇用や賑わいの創出を図る。また、これにより受入体制を整備することで、当該エリアのみならず、市全体の移住・交流・定住人口の増加、地域経済の活性化、観光振興など、地域活力の維持向上に繋げる。

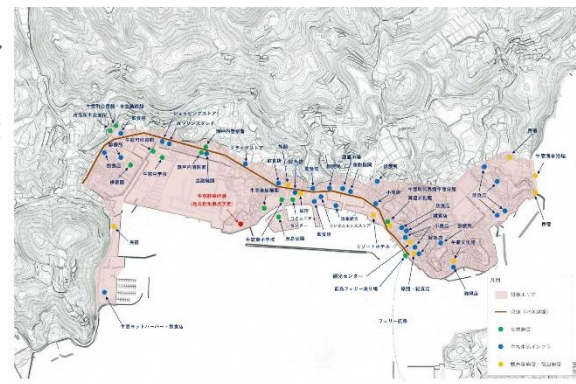
背景・課題

- 当該エリアでは、人口減少等によって空き家等の遊休資産の増加が深刻化し、都市機能や歴史的文化的資産等の維持が困難。
- 一方、県内有数の人気の移住地として注目を集め、暮らしの豊かさが見直されている。
- 太陽のまち創生総合戦略において、「牛窓の資源や知名度を生かして、受入体制を整備し、移住・交流・定住人口の増加を図る」こととしている。
- 近年、SNSや広告媒体等で数多く紹介される魅力的な事業を営む地域住民や移住者が多く集積してきている。

対象区域

瀬戸内市牛窓町牛窓地区エリア (着色部分)

「まちなか」とは…一定程度の定住人口が集積し、生活に必要な各種機能を有する区域であり、生活及び交流拠点として重点的に整備を図ることが相当であると認める区域。



エリアの訴求力が高まっている中、地方創生に向けて、エリア活性化の兆しとなる民間人財と連携してまちづくりを持続的に推進していく仕組みづくりが必要

事業内容

目的達成に向けて、再生人財の発掘・育成、住民理解の深化及びまちづくりの方向性を定めることを目標に以下の事業を実施する。

- 講演会・ワークショップの開催
- エリア活性化に向けた将来構想及び経営理念検討会議の開催
- 上記検討結果を踏まえた将来構想及び経営理念の策定
- 旧牛窓診療所を活用した地方創生拠点運営事業者の選定

再生プロデューサー

明石卓巳（株式会社レイデックス代表取締役）

クリエイティブディレクター、Jリーグファジアーノ岡山ビジュアルディレクターほか
岡山市北区問屋町エリアの再生プロデュースその他全国での実績多数

実施体制図

